

使命感を持ち頑張ってくれているので感謝している。

市内に生息する絶滅危惧種の保護並びに環境保全条例について

**問** 12月定例議会で、レッズドレータブックの絶滅危惧種であるスイゲンゼニタナゴという淡水魚の存在と保護、また、国内有数の生息地である某河川の工事について質問したが、鋭意保護に努力すると答弁された。この半年間、どういった取り組みを進められてきたのか。また、環境保全条例もいつごろ定められるのか。

**答** スイゲンゼニタナゴの件は、以前お答えしたとおり環境並びに生息ということに意を用いて進めたいと思っている。現在、遺跡調査が優先され終わり次第、他自然型工法を採用して生息に配慮した方法で施工するように指示し、一時ほかの場所へ移すことも含めて考えていきたい。環境保全条例は本年度中には制定していきたい。

## 笠原 武士

総合計画と事業評価制度への取り組みについて

**問** 市長の冒頭あいさつの中で、計画に盛り込む事業の必要性、緊急性、有効性を十分検討し、議会及び市民の意見を聞いて臨むと言われた。総合計画策定において、これは事業評価制度へ本気で取り組むと考えてよいか。また、策定について、どのような方法を考えており、いつまでに策定するのか。

**答** 大型事業の事業評価は、設計段階で費用対効果として一定の評価をしてきたが、今後さらに慎重に検討し取り組んでいきたい。新市総合計画策定は、アンケート調査や市政懇談会等で市民のご意見を参考にしながら、それぞれの事業について判断し、議会とも相談し進めていきたい。

こどもの医療費無料化について

**問** 市長選の一つの大きな公約で子どもの医療費無料化を訴えられ、インタビュー等でも早めに取り組みといわれている。小学校六年生までと中学校三年生までの無料化の場合、各々の必要な経費はいくらか。また、厳しい財政の中で、予算をどこから捻出しいつから実施するのか。

**答** こどもの医療費無料化は、今は就学前までである。小学校六年生まで無料化すれば六千三百万程度、中学校三年生まで加えると二千四百万円で、計八千七百万円必要と推測される。財源は行政コストの削減と一般財源の確保を図り、県に対しても補助金を要望し、財源確保に努め来年度から一学年ずつ引き上げるよう努力していきたい。

このほかに、生活者の視点による行財政改革についても質問しています。

## 小西 利一

子育て支援について

**問** 仕事をしながら子育てする場合、保育は深刻な問題で、多様な保育ニーズの充実に対応するための基盤整備や保育サービスの充実が必要である。今後、保育園の時間延長、夜間保育等を実施する考えはないか。また、各地域でスポーツ少年団や文化活動の子育

て支援活動を熱心に行なっている人たちに対して、上限を決めて補助できないか。保育園の時間延長は、市において公立、私立全保育所が午後七時までの延長保育で十二時間開所している。夜間保育は、設置認可要件が整わないので現時点では難しい。子育て支援のスポーツ少年団等の補助は、育成費として補助しているが、今後補助制度のあり方も検討したい。



各地域で活動しているスポーツ少年団